

6月6日（火）、第5回の委員会が開かれました。

1 科学技術、イノベーション推進の総合的な対策に関する件（我が国の科学技術、イノベーション推進の今後の在り方について）

・参考人から意見を聴取し、質疑を行いました。

（参考人）国際核融合エネルギー研究開発機構（ITER）名誉機構長

未来エネルギー研究協会会長

本 島 修 君

（質疑者及び主な質疑内容）

中 山 展 宏 君（自民）

- ・国際熱核融合実験炉（ITER）計画は7極共同の長期間のプロジェクトで、これまでも計画変更やコストの見直し等があり、本島参考人は機構長の職にあって多くの苦労があったと考えるが、我が国がITER計画に参画している意義について本島参考人の見解を伺いたい。
- ・核融合反応は核分裂反応と異なり、暴走するようなことがないので、安全対策が容易であるとされている。核融合に対する一般的な意識については変わってきたと考えられるのか、本島参考人の見解を伺いたい。

北 神 圭 朗 君（民進）

- ・ITER計画については、計画の遅延が生じており、理論や技術的な問題だけではなく、組織の在り方による問題もあると伺っている。現在も外部専門家による提言を踏まえての改革が行われているが、本島参考人に改革等の状況について伺いたい。
- ・ITER計画について、本島参考人は「ターニングポイントを通過した」と述べているが、具体的な完成時期について本島参考人の見解を伺いたい。

奥 水 恵 一 君（公明）

- ・核融合研究の第一人者として活躍する本島参考人であるが、本研究分野に進んだきっかけを伺いたい。
- ・ITER計画の研究開発における要素技術で応用可能なものの具体的な例について本島参考人の見解を伺いたい。

島 津 幸 広 君（共産）

- ・本島参考人は平成21年の「学術の動向」において、サ

イエンスを進めるに当たっての6つの原則の1つとして「社会への発信」を挙げているが、現在のITER計画に対する国民の理解について本島参考人の認識を伺いたい。

- ・核融合炉ではリスクは少ないがゼロではないと考えるが、具体的にどのようなリスクがあるのか本島参考人の見解を伺いたい。

伊 東 信 久 君（維新）

- ・核融合の閉じ込め方式として、ITER計画のトカマク型の他にヘリカル型があり、ヘリカル型の方が効率的であると考えているが、トカマク型とヘリカル型の違いを含め、今後、ヘリカル型を用いる可能性について本島参考人の見解を伺いたい。
- ・米国や大阪大学で進められている、トカマク型やヘリカル型とは別の核融合の閉じ込め方式であるレーザー方式の今後の展望について本島参考人の見解を伺いたい。

尾 身 朝 子 君（自民）

- ・核融合エネルギーの実現のためにどのような研究を進めるべきか、また核融合エネルギーが実現すればどのような社会になると考えるか、本島参考人の見解を伺いたい。

伊 藤 涉 君（公明）

- ・原子力研究の技術者から、高レベル放射性廃棄物を太陽に届けば高レベル放射性廃棄物問題が解決するという話をかつて聞いたことがあるが、理論的に可能な話なのか、本島参考人の見解を伺いたい。

津 村 啓 介君 (民進)

- ・ 科学技術予算の配分について、特に予算のかかるビッグサイエンスの分野において、どのような基準で配分を行うべきであるか、本島参考人の見解を伺いたい。

鈴 木 義 弘君 (民進)

- ・ ITERではニュートリノが相当量発生するとのことだが、そのニュートリノの用途はないのか、本島参考人に伺いたい。

島 津 幸 広君 (共産)

- ・ 核融合エネルギー研究は、量子科学技術研究開発機構に移管されたが、同機構に移管された経緯と、放射線の医療等への応用を主な目的とする同機構へ移管されたことにより核融合エネルギー研究の位置付けが格下げされた懸念について、本島参考人の見解を伺いたい。

伊 東 信 久君 (維新)

- ・ ITERの稼働により生じることとなる中性子をホウ素中性子捕捉療法などに活かさないのか、本島参考人の見解を伺いたい。